

2017年(平成29年)6月16日

『マイメロディ リップ&チーク ファニーピーチ』 『マイメロディ リップ&チーク グロウチェリー』

【マイメロディ×ロゼット】大人気コラボシリーズから
唇にも頬にも使える 2WAY タイプのリップ&チークが新発売！

2017年8月21日発売

ロゼット株式会社は、人気コラボ“マイメロディ シリーズ”から、唇にも頬にも使える 2WAY タイプの『マイメロディ リップ&チーク ファニーピーチ』『マイメロディ リップ&チーク グロウチェリー』を新発売いたします。

華やぎピンク

ふんわり甘いピーチの香り

深みレッド

甘酸っぱいチェリーの香り



マイメロディ リップ&チーク ファニーピーチ

4g/オープン価格

マイメロディ リップ&チーク グロウチェリー

4g/オープン価格

※ご掲載の際には、右記クレジットをお入れいただきますよう予めご了承ください。©1976, 2005, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G580153

発売背景

1975年の誕生以来、長年にわたり高い人気を誇るサンリオを代表するキャラクター「マイメロディ」。2015年にロゼットと初コラボレーションし、可愛いデザインと多機能性を兼ね備えたアイテムは多くの女性から支持をいただきました。

そこで今シーズンは、10代～20代の可愛いものが大好きな若年層をメインターゲットに、簡単にワントーンメイクができる 2WAY タイプの『マイメロディ リップ&チーク』を発売いたします。

乾燥する、血色が悪い、メイクに自信がない、メイク直しが面倒、定番カラーだけじゃつまらない…など、ターゲット世代の多種多様な悩みや要望に合わせ、保湿力と浸透力のある5種類の天然美容成分でスキンケアをしながら、トレンドを取り入れた自分らしい血色感メイクが楽しめる、“多機能でおしゃれ”にこだわった商品を開発しました。

パッケージは、可愛いものに惹かれてしまう女の子が手取り取りたくなる、パステルカラーを基調としたキュートなデザインに仕上げました。さらに2色展開の差別化を図るため、女の子らしさを演出するファニーピーチには「マイメロディ」を、オトナ可愛いを演出するグロウチェリーには黒いずきんとピンクのどくろがチャームポイントの自称マイメロディのライバル「クロミ」を採用し、オリジナルカラーでデザイン。可愛いデザインと多機能性で、勉強も遊びも一生懸命な女の子を応援するマイメロディ シリーズの新商品にご期待ください。

お問い合わせ先:ロゼット株式会社 広報担当:高澤 TEL03(3471)7459

ROSETTE

マイメロディ シリーズ

商品概要

<シリーズ共通特長>

- **バランスの良い発色でふわっと自然な血色感**
統一感のあるワントーンメイクが簡単にできるようリップにもチークにも使えるバランスの良い発色にこだわりました。指先でポンポンとのせるだけで内側からにじみ出るようなふんわり自然な血色感を演出します。
- **5種の天然美容成分配合**
はちみつ・モモ葉エキス(保湿成分)、シアバター・ホホバオイル・ココナッツオイル(保護成分)を配合。保湿力が高く肌になじみやすい 5 種類の天然美容成分が、肌を保護しながら、乾燥しがちな唇にもうるおいを与え、長時間キープします。
- **とろけるようなテクスチャー**
オイル成分を豊富に配合しているから、バターのようにとろけるようななめらかな付け心地。ムラになりにくく、カラー調整も簡単です。
- **色つや長持ちティントタイプ**
染め上げたようなカラーで、色落ちしにくいことが特徴のティントタイプです。
- **トレンドカラーを採用**
使いやすさを重視しつつ、トレンド感も楽しめる 2 色のカラー展開。

商品名:マイメロディ リップ&チーク ファニーピーチ [リップカラー・チークカラー]4g/オープン価格

ひと塗りで、ほんのり甘い愛され顔♡ デートにもおすすめ!

- 女の子らしさを演出する華やぎピンク
- ふんわり甘いピーチの香り



商品名:マイメロディ リップ&チーク グロウチェリー [リップカラー・チークカラー]4g/オープン価格

ひと塗りで、色っぽ可愛いオトナ顔♥ 女子会で映える!

- オトナの印象を与える深みレッド
- 甘酸っぱいチェリーの香り



[発売日] 2017年8月21日

[発売場所] 全国のドラッグストア、GMS、スーパー、バラエティショップ その他

会社名 | ロゼット株式会社

住所 | 〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-10 南品川 Nビル 8 階

創業 | 1934年9月

URL | <https://rosette.jp/>

お問い合わせ先 | TEL03-3471-7459 (広報担当:高澤)